

3. 令和3～4年度モデル事業所の事例

モデル事業の概要

■モデル事業の概要

生産年齢人口の減少が本格化していく中、介護事業所が多様な働き方や柔軟な勤務形態等（兼業・副業、介護助手、短時間勤務、季節限定勤務等）の勤務体制を構築し、情報発信していくことが求められます。そのため、このモデル事業では、専門的な知見を有するコンサルタントが、県内のモデル事業所に対し、仕事の切り分け、機能分化、多様な働き方の導入や、そのPR等に対するコンサルティングを行うことにより、介護未経験者や県外からの移住者などの新たな雇用を創出することを目的としています。

■具体的な実施内容

モデル事業所の実情に基づき、仕事の切り分けや機能分化、多様な働き方の導入等の勤務体制の構築、魅力発信等に関して必要な支援を行いました。また、多様な働き方に対応した働きやすい事業所であることをPRするため、求人活動に使用する求人用チラシの作成をおこないました。これらの支援を行う中で、モデル事業所間での情報交換会や、外部の有識者からの助言を頂く企画評価委員会を実施しました。

■モデル事業所の概要

	モデル事業所名	取組テーマ
令和3年度	リハビリセンター大村（大村市）	○ 多様な人材の就業への対応等を高めるための リーダー職員のマネジメント能力の更なる向上
	特別養護老人ホーム平戸荘（平戸市）	○ 多様な働き方を実現するための 業務分析と求人者向け広報素材の制作
	特別養護老人ホーム只狩荘（五島市）	○ 島外移住者向けに多様な働き方をPRするための 施設の魅力・課題の整理と広報素材の制作
令和4年度	介護老人保健施設吉岐（吉岐市）	○ 多様な働き方導入に向けた間接業務分析に 基づく勤務パターンならびに求人素材の作成
	養護老人ホーム朝海荘（新上五島町）	○ 業務分析による間接業務の整理と、オンライン 活用を含めた県外移住者向け広報素材の制作
	特別養護老人ホームうんぜんの里（雲仙市）	○ 周辺地域の求職者へ多様な働き方をPRするため 求職者のニーズに応じた求人素材の制作